

授業をするにあたって私が気を付けた点は沢山ある。まず、「分かりやすく学習者に伝えること」だ。どのくらいのレベルなのかを事前に聞いていたので「どこまで把握しているのか」についての想像はできたが、それでもなかなか教案を考えるのには苦労したのが正直な感想である。次に「表現力」だ。特にロールプレイでは演技しないと伝わらない部分や実物を使わないと伝わりにくいこともあったので、しっかり考えるように内容を組んだ。最後に、「教師の立つ位置」だ。学習者にホワイトボードが見えづらくなならないように三回の授業でかなり意識をして取り組んだ。

私は一回目の授業は音声、二回目と三回目はロールプレイを担当した。DVDを見て授業を振り返って気付いたのは、表情についてである。授業の導入の時もフィードバックの時も、常に笑っているクセがあるので、気を付けたいと思った。一回目の授業では、初めてにしてはうまくいっていたと思う。反省としてはヤマの数を 1、2、3 で答えるときに学習者が正解した際、「正解です。」と言っただけで、私が繰り返さなかったのが良くなかったかなと思う。あともう少し声を張って発音するべきだった。事前にたくさん時間を取って練習したにも関わらず、教案をほぼ見ながら授業をしていたので、下を見るが多かったように感じる。自分が思っているよりも案外声が出ていないなということも、DVDを見て気付いた。授業の中で良かった点は、事前に実習生 Cさんと、CDを操作する係と授業をする係とに分けていたので、とてもスムーズに授業が進んだことである。協力し合うことは大切だと思った。準備の段階では、自分が担当する箇所のCDを聞いて、どの発音が正しいのか言いながら分からなくなったりした。発音の授業は本当に初めてだったので経験出来て良かった。

二回目と三回目の授業ではロールプレイをした。二回目は実習生 Cさんと協力してできたが、三回目は私の体調不良が原因の為、一人で授業をしたので、後期に体験するであろうスタイルの授業が経験できた。ロールプレイは音声の授業よりもずっと不安だったので、教案から教材までしっかり準備し、沢山練習をした。そのおかげで興味を持ってもらえる授業が出来たと思う。始まるまではとても緊張していたが、始まると緊張はなくなり授業に集中できた。本番で用意していた授業が時間の関係上、丸々一つ出来なかったのが、時間以内に終わるように心掛けないといけないことを学んだ。

私が一番ロールプレイをする上で力を入れたことは、二つある。一つ目は、教材だ。ユニットの内容はファッションで、私は美容院でのシチュエーションを選んで授業をした。まず、ヘアスタイルを提示した際に、せっかく隠していた名前が見えていて、学習者に「見えています。」と指摘されたので、以後気を付けようと思った。美容院では一般的には鏡を見ながら、美容師と話すことが多いので鏡を用意した。そうすると、学習者がノリノリで演技をしてくれてとても嬉しかった。導入で沢山の写真や実物を用意することで、少しでも興味を持って授業を楽しいと思ってもらえるようにした。二つ目は、フィードバックがスムーズにできるよう、前もって学習者が言いそうなフレーズを予想してその正しい言い換えを考えたとだ。学習者の立場になって考えてみるのは意外と難しく、どのような質

問をされるかも予想できなかった。実際に授業で、思わぬ質問が来たときは正直焦った。しかし、実習生 C さんが助けてくれたので良かった。三回目の授業のユニットの内容は晴れの日で、私は導入で日本のお正月にまつわることについて写真を使って紹介した。その説明を出来るだけ簡単に言い換えて伝わるように言葉を選んだ。また、おせち料理を説明する際に、学習者にプリントを配布したところを工夫した。そのプリントはカラー写真とカッコ抜きになった空欄を作り、きちんとメモしてもらえるようにした。授業の終わりに二人から「プリントありがとうございました。」と言われたのが私はとても嬉しかった。ロールプレイは中国の旧暦の新年の過ごし方についておこなった。そのロールプレイを終えて私が思ったことは、普段知らないことを知ることができるということだ。外国人と関わること全般に言えることだが、興味を持って文化を知ろうとすることはとても大切だ。これが日本語教員になると楽しめることだと思うし、魅力だと考える。毎日新しい発見があることは素敵だ。

最後に、今学期の最後の授業で視聴したビデオの中で、先生同士が「学習者とのエピソードで嬉しかったことがあると、日本語教員のやりがいを感じる」と言っていたことが印象的だった。このことを心にとめて後期の実習も頑張りたいと思う。横溝先生が撮って下さったビデオを振り返ると、自分が出来ていると思っていたことがそんなに出来ていなかったことに数多く気づくことができた。改善できるところはこれから改め、より良い授業にしたい。後期の実習で私は教材を出来るだけたくさん作り、時間をきちんと計り何度も練習して授業に臨みたい。前期の授業では授業時間が余ることを想定せずに多めに用意することをしていなかったので、後期では時間配分について一番に考えたい。